

# 一般質問

# 町政を問う

岩崎 正春議員



**Q** ジオパーク世界認定への課題は

**A** 世界に通用する獨創性が重要

**議員** 5月に世界ジオパーク島原大会が開催され、その内容と意義と町のジオパーク推進、あるいは世界認定へ向けての課題は。

**推進室長** 世界に通用する獨創性と地質遺産の評価ができる学術的資料、国際論文などの有無が重要であり、なおかつジオパークの活動基盤がしっかりしていることが最大の審査基準とのこと。ジオパークのエリア拡大については、新たに再審査が必要になるとのことですが、既存エリアの10%以内であれば、書類申請のみでよいとのこと。

**町長** ジオパークに関する諸問題につきましては、1番が町の全体としてのコミュニティが必要ととらえております。そこに暮らす人たちの習慣、また風習、そこで生産などが用いられる深い結びつきが重要だ。

**議員** 町民に対してきめ細かな情報発信の方法はどのように考えているか。

**推進室長** 携帯端末などで位置情報や解説文などが見られるアプリを導入しているジオパークもあり、今後はそれらの導入とも併せ、ツイッターやフェイスブックの活用についても検討していきたいと考えている。

**Q** 白髭岩（白髪岩）と林道整備について

**A** 文化財等の保護や指定を考えていく

**議員** 町の最高峰にある明治15年に設置された三角点を文化遺産として登録を検討したことはあるか。

**産業振興課長** 心ない登山客等によって破損や破壊

等をされる恐れがあるものですから、文化財等の保護や指定が完了して、さく等の保護の対策が十分に講じられてから、観光ポイントとして紹介をしていけたらと考えている。

**Q** 交通弱者対策に対する取り組みや計画は

**A** 過疎集落への試験的延長運行を検討中

**議員** 町のスクールバスの再編後の具体的な取り組み、計画内容は。

**企画財政課長** タクシー券の助成が行われており、さらに、公共交通空白地対策として、今年度のバス改編期に併せ、過疎集落への試験的延長運行を検討している。

**議員** 集落支援制度についてどのような対策を考えているか。

**企画財政課長** 集落への人的支援などを実施、検討していきたい。

**総務課長** 行政区の統合、集落支援員の継続、集合住宅の建設、また配り物を郵送するなどが考えら

れますが、今回支援員から報告を受けた地区だけでなく、ほかの地区も同じような問題を抱えていると思われるので、早急に検討しなくてはならないと考えている。



世界ジオパーク島原大会会場